

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2099	
日 時 2025年11月07日(金) 晴・下部風あり	
山 域 ハツ・西岳(2398m)	
コース 長泉 6:00-富士見高原駐車場 8:30-不動清水・盃流し 9:09-ドイツカップルに抜かされる 10:48-西岳 11:30~12:30-駐車場 15:00 (片道約2.5H、距離約300km)	
標高差 駐車場約1330m~西岳2398m=約1068m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<b>一本上りの直登道に喘ぐ</b>	
参加者 後藤(78)、勝又、峰田、伊藤=4名	

このところ週末は悪天候が続き山行は二週間ぶり。山域はいろいろあったが、「オジ・オバ推薦コース・NO. 1」でハツ・西岳に決定。

「オジ・オバ推薦コース」定義は、「標高差1000m前後・上り3時間前後・75歳以上」だ。最近はその程度がよろしい。4名の平均年齢74歳。ちなみに男子80歳は、筋肉量が30%減という。どうりで最近、キツイ訳だ。アルコールも筋肉減の一因という。

富士見高原駐車場は見事な紅葉。立派なトイレがあり有難い。駐車場はガラガラ。以前、何回か幕営した。静かでイイ所だ。



天気は快晴。良く冷えた朝。冷たい西風が吹いていた。ブラブラ上る。不動清水まで、やや道が分かり難かった。清水で湧水を飲んだ。味はマアマアだった。

登山道は一直線の一本上り。ジグザグの場所は皆無。ひたすら上って行く。下部は落葉松林が続く。風に飛ばされた落葉松がハラハラとザックに降りそそぐ。正に晩秋って感じだった。今山行の一旬・・・「落葉松や 繺羅綺羅綺羅と 髮飾り」

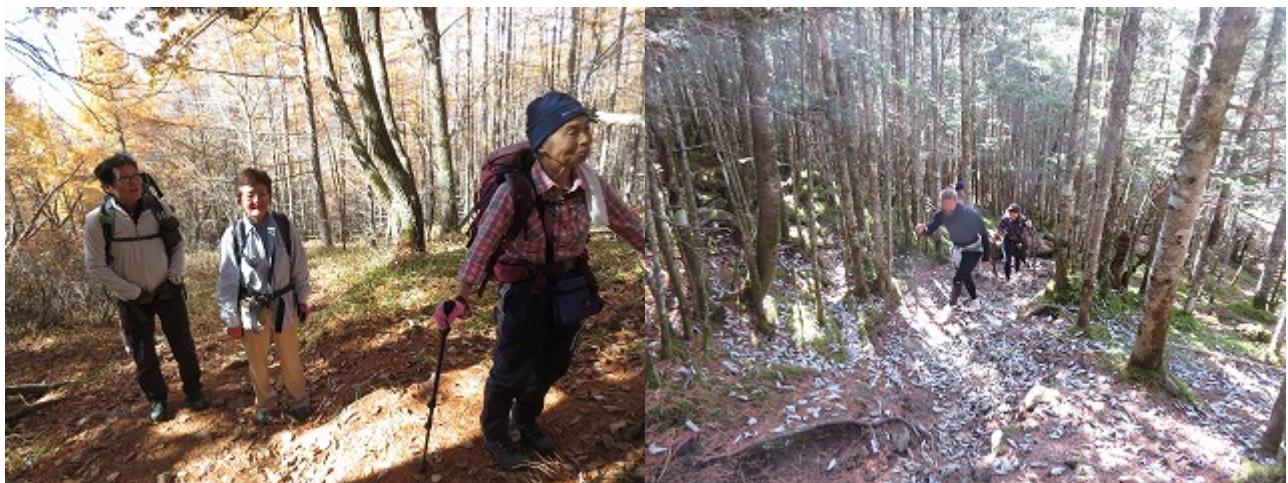
標高2000m付近で今日唯一の登山者が上って来た。若い外人のカップルだった。ドイツから来たという。男性はモジャモジャの髪を生やしていた。女性はフィアンセといった。

新婚旅行かと思いきやそうでなかった。

ズック履き、ザックはペラペラ。登山口にあった落葉松の太い枝を突いていた。アッという間に我々を抜いて行った。



不動清水



外人さん

喘ぎながら山頂下のガラ場を上る。上から、これまた白髪の登山者が下山してきた。一見して「老練」の雰囲気。小屋関係の方だろうか。足元は、一昔前のガッチリした重厚な「革靴」だった。上から無言で見下され威圧を感じた。

ようやく山頂着。Mはピヨンピヨン上り先に着いていた。外人さんも休憩していた。ただ、食料はなく食事はしていなかった。

外人さんに山の説明をした。男性はいくらか日本語を話した。当方は、「ダンケ・ダンケ」だけである。男性のスマホで写真を撮ってあげた。「ナイス・カップル」のリップサービス。我々もカメラで集合写真のシャッターを押して貰った。

空腹で昼食を広げた。ドイツは下山するようだ。別れ際、Iさんに貰って持参した「次郎柿」を二ッ上げた。お礼は、本物ドイツの「ダンケ」だった。

山頂は何故か無風で暖かい。下部は強風だったのが不思議。南に編笠が大きい。昔は編笠から縦走したが、今はその威勢はない。東はギボシの向こうに権現が頭だけ見えた。久しぶりに山頂で一時間ノンビリした。



山頂のドイツカップル



ドイツさん撮影

